

年度9月末時点での予算計上額に基づき特別交付税措置を受けている。
②特別交付税の算定基準を根拠に支援を実施してきたわけではなく、不採算部分の医療の運営を支援するためにどの程度の補助が必要なのか、病院の運営状況を確認して支援を実施してきた。
③町として、町民が安心できる医療体制の確保は重要なことであり、今後も支援を行う必要性はあると考えている。これまでと同様に、運営状況等を確認しながら、医療機関と協議して取り進めていきたい。

役場職員におけるメンタルヘルスの在り方

北村光明 議員
地方公務員を取り巻く環境は複雑多様化し、職員一人ひとりの役割や責任がより重くなっていることから、メンタルヘルス（心の健康）対策が重要であると考えている。

①メンタルヘルスの不調により長期休暇や退職を余儀なくされた例はあるか。
②メンタルヘルス対策の制度はあるか。
③ストレスチェックシステムやコンサルテーション制度、第三者専門家による電話相談の仕組みなどが必要ではないか。
阿部町長
①1か月程度休んだ職員はいるが、長期にわたり休暇を取得した職員はいない。メンタルヘルスの不調を理由に退職した職員もいない。
②広域研修を活用し職員研修を開催するなど、知識の習得と実践に向けた取り組みを進める。
③電話相談や働く人のメンタルヘルス・ポータルサイトなど、専門知識を有したスタッフが対応する相談窓口があるので、広く職員に周知し、活用を促していきたい。

地域の自主防災体制

北村光明 議員

町内会等における自主防災組織の結成についての依頼文書が出された。大いに賛同しているが、町内会等の事情によっては戸惑う地域もあると思われる。

①防災計画との関係において、役場職員の平時における支援には何があるか。
②自主防災組織の町内会等役員組織から町対策本部関係者を除外すべきか。
③自主的な組織づくりや運営ができるよう、サポートや財政支援が必要ではないか。
阿部町長
①防災ガイドマップを活用した防災意識の普及や啓発などがある。
②災害時において町職員や消防職員は町の災害対策本部の部員として災害



清水高等学校の振興と支援

北村光明 議員

総合学科を有し、特徴ある清水高校であるが、出願応募数が定員数に満たないとの報道があった。

①教育委員会としてのどのように捉えているか。
②中学校との連携のみならず強力な支援体制が必要だと思うが、具体的な支援は考えているか。
③アイスホッケーの振興と併せて特徴のある支援はないか。
伊藤教育長
①大変厳しい状況であると認識しており、要因については高校において分析中である。4学級が維持されるように町長部局とも連携して対応していきたい。

職員不祥事防止に向けた抜本的な対策



原 紀夫議員

平成29年度は国保税の課税ミスや部下へのセクハラ行為発覚など、職員の信用失墜行為により町民間に不信感が募る結果となった。
本町の懲戒手続条例は細則等を別途定めて運用しているが、長年経過しており、町民の知るこ

にはなっていない。
札幌市をはじめ道内の町村では職員の非遵行為を未然に防止するため、厳しい処分量の懲戒処分規則や指針を策定し運用しているところもある。本町においても見直すべきと考えるがいかがか。
阿部町長
本町の懲戒処分に関する手続き及び基準等については、地方公務員法を根拠とし、職員の懲戒の手続き及び効果に関する条例及び規則を制定している。加えて清水町職員の懲戒処分等の基準等に関する規程を平成18年に整備し、必要に応じて改正を行いながら運用しているが、他町村の例を参考に町民が納得できるきまりをつくってきたい。

各種記念碑等の修復

原 紀夫 議員
本町には記念碑等が数多く建立されているが、経年により朽ちつつあるものも見受けられる。戦没者慰霊塔や忠魂碑なども、管理される方の高齢化などで清掃等が困難となり、以前の議会でも指摘されていたが、人の目に触れる箇所については痛みを限りである。

現状を把握し、修復が必要となれば補助金の支出や町民ボランティアの活用、期成会の構成等を考えなければならぬと思うが、考えを伺う。
伊藤教育長
現在確認できている記念碑等は94か所ある。設置した団体等がさまざまであり、管理状況も不明なものが多いため、それぞれの状況に応じてその都度判断していきたい。
金田副町長
公費で修復するには条例や規則等の整備が必要になる。知恵を出して、なるべくお金のかわらない方向で考えていきたい。

除排雪



佐藤幸一議員

①除雪に関する平成29年度の苦情件数と内容は。
②除雪業者の施工技術の審査はどのようになっているのか。
③市街地の交差点だけでも排雪を行うことが必要ではないか。
④除雪出動基準と除雪方法の見直しが必要ではないか。
阿部町長
①苦情件数は40件ほどで、「わだちがひどい」という内容が多く寄せられ、大雪が降った時には「出動時間が遅い」「歩道が除雪されていない」「入口に雪を置かれた」等の苦情が寄せられた。
②施工技術の審査は行っていない。作業終了後に

手直しが必要だと判断した場合は除雪業者に指示して対応している。
③3月7日から御影市街3月10日から清水市街の排雪を行っており、見通しの悪い交差点については逐次解消されていく。
④除雪については、おおむね10センチメートルから15センチメートルの降雪量を基準としており、交通量が少ない午前4時頃から出動している。排雪等を含めた総合的な見直しについては、最近の異常気象の例を参考に、冬道の安全確保に向けて考えていきたい。

清水高等学校の支援

佐藤幸一 議員

総合学科に転換して22年になるが、間口減の危機を迎えている。
①町として通学費の支援を行う考えはないか。
②学校説明会など、町・

閉会中の委員会活動

- 総務産業常任委員会
・清水公園活性化事業について
・他所管に関する事項について
- 厚生文教常任委員会
・清水高等学校の振興策について
・他所管に関する事項について
- 広報広聴常任委員会
・議会広報紙の編集及び発行について
・他所管の広報及び広聴に関する事項について
- 議会運営委員会
・議会の運営とその諸規定について
・議長の諮問に関する事項について

学校・高校振興会が一体となって行う必要があるのではないか。
伊藤教育長
①生徒の約7割が町外から通学していることは認識しているが、現時点では大学等への進学実績を伸ばすための支援策を充実させることを考えており、通学費の助成については考えていない。
②中学生と保護者に向けて、清水高校の教育内容や卒業後の進路状況を説明する進路学習会や体験入学、授業見学などが行

われており、高校の教員のほか在校生がプレゼンを行うなど、興味・関心が持てる内容で実施されている。
平成25年度からは、清水高校振興会の主催により「総合学科を語る集い」が開催されており、平成29年度は町内外から約70名の参加があった。
多くの人に清水高校の教育活動やその成果などを知ってもらう場として、今後も内容の充実について高校振興会と協議していきたい。